



主 な 議 案 の 内 容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。
各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。

市長提出議案

越谷市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

第1号被保険者に係る介護保険料の見直しに伴い、所要の改正を行う必要があるため、提案されました。介護保険料は、介護給付対象サービスの見込量等に基づいて算定した保険給付に要する費用の予測額等に照らし、3年ごとに見直しを行うこととされています。
本条例は、本年（2021年）4月1日から施行します。



いきいきといつまでも生活していくために

▶反対討論

市は、できる限り保険料の上昇を抑えようと努力していることは理解する。しかし、介護保険制度の仕組みが国の負担割合を25%と低い状態で固定化しているため、65歳以上の第1号被保険者にしわ寄せがきている。該当者のほとんどが年金生活者であり、医療費がかさむ年齢層で生活は大変になるばかりである。これ以上の負担を求めるべきではないと考え、反対する。

越谷市下水道条例の一部を改正する条例制定について

下水道使用料の見直しに伴い、所要の改正を行う必要があるため、提案されました。
本条例は、本年（2021年）9月1日から施行し、11月1日以後に使用料の支払いを受ける権利の確定される使用料について適用します。

▶反対討論

下水道は公衆衛生にとって欠かせないインフラであり、極めて公共性の高い行政財産である。国や自治体がその費用を負担すべきであり、下水道事業に独立採算を追求する考え方はなじまないものとする。使用料金や経費回収率の引き上げは行うべきではないと考え、本議案に反対する。

令和3年度越谷市一般会計予算について

令和3年度(2021年度)当初予算の概要

区 分	予算額	増減率(%)
一般会計	1032億円	▲2.3
特別会計	577億9900万円	2.6
病院事業会計	136億2300万円	10.0
公共下水道事業会計	106億5300万円	▲1.5
総 額	1852億7500万円	0.1

令和3年度（2021年度）当初予算は、第5次総合振興計画前期基本計画の着実な推進と、市民が誇れる、いきいきと活性化する

まちづくりをさらに推進するために編成されました。

▶議案質疑

問 コロナ禍での予算編成の特徴は。

答 令和3年度の当初予算は、財源の確保が大きな課題であり、例年以上に厳しい予算編成となった。このため、自主財源、依存財源を問わず、歳入の確保に努めるとともに、歳出では、事業の廃止や休止、先送り、縮小などを含めた、選択と集中による予算配分を進める中で、子育てしやすい環境づくりの推進、災害に強いまちづくりの2つの取り組みを中心として予算編成をした。

▶反対討論

本予算議案には評価する点や進めるべき施策もあるものの、保育所や小中学校の大規模化につながる統廃合の予算も含まれている。子どもの健全な成長発展にとって見過ごせない懸念がある施策を計画ありきで進めようとする内容が含まれているため、反対する。

▶賛成討論

計画初年度を迎える第5次総合振興計画に沿って、コロナ禍においても子育てしやすい環境づくりの推進、災害に強いまちづくりへの取り組みを考慮している。また、限られた財源の効果的、効率的な配分に努めるなど、本市の目指すまちづくりの実現に必要なものであると確信し、賛成する。

議員提出議案

意見書の要旨等については、市議会ホームページに掲載しています。

婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める意見書について

この議案は、細川威議員ほか7人から共同提案されました。

▶議案質疑

問 民法および戸籍法における「嫡出でない子」は、法律上の婚姻関係にない男女の間に出生した事実関係を意味し、差別的な意味合いとして用いられるものではない。これについてどのように考えるか。

答 嫡出子は婚姻関係があることとなっている。その対義語は庶生、類義語には妾腹、いわゆる妾の子という意味合いも含まれている。出生届で嫡出子、嫡出でない子の記載欄とはなっているが、実際、出生届を出す際に、違和感を感じる方も多くいる。そういった意味で差別があるのではないかとと思う。

▶反対討論

婚外子の記載については、戸籍法を改正すべきとの意見もある一方で、表現の可否も含め、嫡出子と嫡出でない子は区別し、続柄についても明記しておくべきとの意見もあり、賛否について議論が定まらない状況となっている。このため、本件は慎重に検討しながら判断していく必要があると考える。現時点で法改正を国に要請するという状況にはないと考え、反対する。

▶賛成討論

嫡出という言葉は、正当な後継者という意味を持っており、出生届の嫡出でない子にチェックを入れることは、単に婚姻外で生まれたことを示す以上に差別的な意味がある。また、戸籍の続柄欄は、民法上の権利義務に影響はなく、これも不必要な記載であると言え

る。全ての子どもの権利が最も優先され、差別や偏見のない社会となることを強く望むことから、賛成する。

【議決結果】可決

75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対する意見書について

この議案は、山田大助議員ほか5人から共同提案されました。

▶議案質疑

問 現役世代に負担を求めず、国が負担をすべきだという考え方の見解は。

答 日本は社会保障における企業負担の割合が極端に少なく、その分個人負担が非常に多い。将来的な課題であるが、この制度を変えていくことで、国が持ち出す部分はそれ程増やさず、個人の負担を減らせるのではないかと考えている。

▶反対討論

▷ 昨年12月に閣議決定された、全世代型社会保障の方針は、後期高齢者の医療費負担が2割に引き上げられる見通しで、高齢者にも負担能力に応じた負担を求めるものであり、我々の主張と同じ方向のものである。ただし、現役世代については、所得に応じた負担にはなっていないなどの改革すべき点もあるが、75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対であるものではない。以上の理由から、本議案に反対する。

▷ 全世代対応型の社会保険制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案は、現役世代の負担増の軽減を図る必要があること、また、社会保険料の免除対象を広げることなど、全世代対応型の社会保険制度を構築するための法案となっている。以上のことから、反対する。

▶賛成討論

75歳以上の高齢者の医療費窓口負担で患者本人に2割負担を導入することについては、経済的事情による受診抑制を拡大することにつながるため、医療関係者をはじめ、国民の多くが反対の声を上げている。若い世代の負担軽減というなら、国としての公的役割を果たすべきと考える。以上のことから、賛成する。

【議決結果】否決

生活保護申請における扶養照会の見直しを求める意見書について

この議案は、山田大助議員ほか5人から共同提案されました。

▶議案質疑

問 資力のある親族がいるにもかかわらず、生活保護制度を利用する方に対しての考え方は。

答 親族にある程度の資力があっても、本人の収入が少ない状況であれば、生活保護は権利として使っていいものとする。また、使える状況がより望ましいと考えている。

▶反対討論

▷ 現状の生活保護制度では、あらゆる制度を利用した上で、まだ生活ができない方々を保護するもので、保護より扶養が優先される以上、どこまで確認するかある程度配慮をしながらも扶養照会を直ちにやめるとはならないと考え、反対する。

▷ 扶養義務の履行が期待できると判断される者に対し、その責任を果たしていただくことが国民から信頼される生活保護制度の運用につながると考える。また、扶養照会により、精神的な援助等が制度の上では重要などの理由から、反対する。

▶賛成討論

▷ 扶養照会により、親族に知られたくないなどの理由で申請をためらう人は少なくない。市でも照会を行ったものの、援助につながったのは僅かであり、職員の業務負担のほうが大きいのではないかと思う。また、厚生労働省は、扶養が期待できなければ親族への照会

はしなくてもよいとしているが、明確に廃止していないため、自治体によって差が出ている。以上のことから、賛成する。
▷ 扶養照会は利用を阻む壁になっている。扶養照会が親族の支援につながっているのか福祉事務所の職員からも、業務負担が大きいだけ、意味がない、税金の無駄という批判が

上がっている。厚生労働省は、扶養が期待できなければ親族への直接照会はしなくてよいとしている。本人の承諾なしには扶養照会は禁止にするなど、利用しやすくするための全面的な運用の見直しを求め、賛成する。
【議決結果】 否決

令和3年3月定例会

審議結果

◇議案の概要は市議会ホームページから確認できます。

すべての議員が賛成した議案

議案番号	付託委員会	議案名	議案番号	付託委員会	議案名
市長提出第2号	省略	専決処分事項の承認を求めることについて（令和2年度越谷市一般会計補正予算（第10号））	市長提出第38号	教育・環境経済	越谷市立体育館条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第3号	省略	越谷市副市長の選任につき同意を求めることについて（青山 雅彦 氏（再任））	市長提出第39号	教育・環境経済	越谷市立あだたら高原少年自然の家解体工事請負契約の締結について
市長提出第4号	省略	越谷市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて（川合 時雄 氏（再任））	市長提出第40号	分割（※）	令和2年度越谷市一般会計補正予算（第11号）について
市長提出第5号～第18号	省略	越谷市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（宇田川 道代 氏（再任） 大熊 敏夫 氏（新任） 荻島 元治 氏（再任） 金子 繁雄 氏（再任） 小林 博 氏（新任） 坂巻 秀雄 氏（再任） 渋谷 喜代治氏（再任） 瀬尾 守 氏（新任） 田口 勲 氏（再任） 藤井 光昭 氏（再任） 三ツ木 宗一 氏（再任） 山崎 保夫 氏（再任） 吉田 佳子 氏（再任） 小沼 真由美氏（新任））	市長提出第41号	民生	令和2年度越谷市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について
市長提出第19号～20号	省略	越谷市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（木村 正英 氏（新任） 與喜多 正人 氏（新任））	市長提出第42号	民生	令和2年度越谷市介護保険特別会計補正予算（第3号）について
市長提出第21号	総務	越谷市手数料条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第43号	建設	令和2年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）について
市長提出第22号	総務	押印を求める手続の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について	市長提出第44号	総務	令和2年度越谷市公共用地先行取得事業費特別会計補正予算（第1号）について
市長提出第23号	総務	包括外部監査契約の締結について	市長提出第45号	民生	令和2年度越谷市病院事業会計補正予算（第2号）について
市長提出第24号	民生	越谷市地区センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第46号	建設	令和2年度越谷市公共下水道事業会計補正予算（第2号）について
市長提出第25号	民生	越谷しらこばと基金条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第48号	予算	令和3年度越谷市国民健康保険特別会計予算について
市長提出第27号	民生	越谷市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第49号	予算	令和3年度越谷市後期高齢者医療特別会計予算について
市長提出第28号	民生	越谷市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第51号	予算	令和3年度越谷市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算について
市長提出第29号	民生	越谷市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について	市長提出第52号	予算	令和3年度越谷都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計予算について
市長提出第30号	民生	越谷市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について	市長提出第53号	予算	令和3年度越谷都市計画事業七左第一土地区画整理事業費特別会計予算について
市長提出第31号	民生	越谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例及び越谷市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第54号	予算	令和3年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計予算について
市長提出第32号	民生	越谷市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について	市長提出第55号	予算	令和3年度越谷市公共用地先行取得事業費特別会計予算について
市長提出第34号	民生	越谷市食品衛生法施行条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第56号	予算	令和3年度越谷市病院事業会計予算について
市長提出第35号	民生	議決事項の一部変更について（越谷市大沢地区センター・公民館改修工事（建築）請負契約の締結）	市長提出第58号	総務	越谷市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第37号	教育・環境経済	越谷市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第59号	民生	越谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
			委員会提出第1号	省略	越谷市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
			委員会提出第2号	省略	越谷市議会会議規則の一部を改正する規則制定について

賛否が分かれた議案

議案番号 付託委員会 議案名			会派名		自由民主党越谷市議団							公明党越谷市議団					立憲・市民ネット					日本共産党				刷新クラブ				維	無	賛成	反対	本会議議決結果				
			議員名		野口佳司	伊藤治	金井直樹	島田玲子	小林豊代子	大野保司	服部正一	野口和幸	守屋亨	岡野英美	竹内栄治	瀬賀恭子	畑谷茂	久保田茂	細川威	後藤孝江	福田晃	松田典子	山田裕子	清水泉	山田大助	宮川雅之	工藤秀次	大和田哲	松島孝夫	武藤智	浅古高志				野口高明	小林成好	白川秀嗣	菊地貴光
市長提出第26号	民生	越谷市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	可決	
市長提出第33号	民生	越谷市子ども医療費支給に関する条例及び越谷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	可決
市長提出第36号	建設	越谷市下水道条例の一部を改正する条例制定について	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	可決
市長提出第47号	予算	令和3年度越谷市一般会計予算について	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	可決
市長提出第50号	予算	令和3年度越谷市介護保険特別会計予算について	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	可決
市長提出第57号	予算	令和3年度越谷市公共下水道事業会計予算について	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	可決
議員提出第1号	省略	婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める意見書について	×	議	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	7	可決	
議員提出第2号	省略	75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対する意見書について	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	11	19	否決	
議員提出第3号	省略	生活保護申請における扶養照会の見直しを求める意見書について	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	11	19	否決	

※総務、民生、建設、教育・環境経済分割
凡例：○…賛成 ×…反対 議…議長（議長は採決に加わりません）
会派名の日本共産党は「日本共産党越谷市議団」、刷新クラブは「越谷刷新クラブ」、維は「日本維新の会」、無は「無所属」の略
◀越谷市議会議員 条例定数＝32人 現員数＝31人▶



民生



越谷しらこぼと基金条例の一部を改正する条例制定について

基金の活用状況や市民団体への周知などについて質疑がありました。

越谷市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

問 近隣自治体との調整交付金の差は。

答 今年度の調整交付金は約4億6600万円であり、草加市、川越市等と比べ、大きな差はない。

問 他市と介護保険料の差がある理由は。

答 自治体によって事業所の整備が進まない現状があり、サービスの利用環境が異なるなど、都市部とそれ以外で1人当たりの給付額に差が生まれると考えられる。

問 国の負担割合増を求める要望は。

答 全国一律の制度のため、毎年中核市市長会を通じて、国の負担割合や公費負担のあり方を見直していただくよう要望している。引き続き機会を捉えて求めていきたい。

問 保険料段階設定の所得階層区分を細分化した理由および他市の状況は。

答 600万円以上の収入の方を一律で最高の12段階に設定していたが、公平性から細分化に至った。状況は、自治体による。

▶**討論** 反対討論が1件ありました。

越谷市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

身体的拘束に対する認識や保護者からの苦情等の状況などについて質疑がありました。

越谷市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について

常任委員会の活動

3月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案28件が所管の常任委員会に付託され審査を行い、全ての議案を原案可決しました。

※質疑のあった議案については主な質疑項目を掲載しています。また、賛否が分かれた議案については、質疑項目と答弁要旨を掲載しています。

市内の高齢者施設等における虐待事例などについて質疑がありました。

越谷市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について

就労継続支援A型事業所の利用者の労働時間や運営状況に関する評価の公表を義務付けることの効果について質疑がありました。

越谷市こども医療費支給に関する条例及び越谷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 電子資格確認等により、被保険者であると確認を受けられるようになるが、マイナンバーカードの発行件数および紛失した場合の対応は。

答 1月末現在で8万5923件、市の人口の約25%となる。紛失については、所定の手続き後、一時停止し、見つければ市役所で一時停止解除を行う。

▶**討論** 反対討論が1件ありました。



マイナンバーカード(見本)

越谷市食品衛生法施行条例の一部を改正す



総務

越谷市手数料条例の一部を改正する条例制定について

手数料の改正に伴う市内事業者への影響などについて質疑がありました。

押印を求める手続の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定について

オンライン手続きへの取り組み状況などについて質疑がありました。

令和2年度越谷市一般会計補正予算(第11号)について

減収補てん債および特別減収対策債などについて質疑がありました。

る条例制定について

HACCPに沿った衛生管理の導入支援の取り組みおよび事業者への周知について質疑がありました。

令和2年度越谷市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について

国保税医療給付費分現年課税分の減額理由について質疑がありました。

令和2年度越谷市病院事業会計補正予算(第2号)について

医業外収益における一般会計補助金の内容について質疑がありました。



建設

越谷市下水道条例の一部を改正する条例制定について

問 料金改定による影響額と経費回収率は。

答 料金改定による収入増について、年間を通して改定の影響を受ける令和4年度以降は3億4000万円となる見込みであり、このうち一般家庭の使用と考えられる50㎡以下ではおおむね2億5800万円となる見込みである。また、適正な料金体系構築のため、経費回収率100%に向け取り組んでおり、令和元年度の経費回収率は、91.8%である。

問 料金改定の必要性を周知する考えは。

答 料金改定について、広報こしがやや市ホームページに掲載するとともに、全ての使用者に、料金改定の内容と必要性について記載した通知を郵送する予定である。また、今後もさまざまな財源確保策について検討していくとともに、イベント等の機会を通じて、使用者に下水道事業についてご理解いただけるように取り組んでいきたい。

問 大口使用者の料金体系の考え方は。

答 本市では、他団体と比較し相当遅くまで一律単価である従量制の料金体系を採用しており、累進制を採用していた他団体と比較すると、小口使用者の料金はやや高く、大口使用者の料金はやや低い状態であった。

平成28年度の料金改定から累進制を採用したが、急激な負担増を避けるため、段階的な見直しを行っている。今回の料金改定で、大口使用者は平均よりも高い改定率の見直しとなっているが、改定後も他団体と比較するとやや低い額となっている。

問 下水道事業における民間活用の考えは。

答 国において民間企業への業務委託や権限移譲の考え方が示されているが、まずは汚水処理施設と污泥処理施設への活用を検討すべきとされている。本市でこれらに該当する施設はないが、形態が近い施設として中継ポンプ場を多く運営しており、運転監視と保守点検の業務を委託している。一方、中継ポンプ場は水防活動と関わりがあり、職員による運営が必要であることから、

現時点では運営権の譲渡は予定していない。今後も国の動向に注視していきたい。

▶**討論** 反対討論が1件ありました。

令和2年度越谷市一般会計補正予算(第11号)について

平方公園整備事業や新方川緑道整備事業などについて質疑がありました。

令和2年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計補正予算(第2号)について

今年度末における事業の進捗見込みや完了時期の見込みについて質疑がありました。

令和2年度越谷市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について

建設改良費の補正理由や負担金のあり方などについて質疑がありました。



教育・環境経済

越谷市立体育館条例の一部を改正する条例制定について

第1体育館および第2体育館で定期利用している団体の今後の活動場所について質疑がありました。

越谷市立あだたら高原少年自然の家解体工事請負契約の締結について

随意契約に至った理由や解体後の跡地利用などについて質疑がありました。



第1体育館

令和2年度越谷市一般会計補正予算(第11号)について

給食センターにおける今後の改修予定などについて質疑がありました。

一般会計

問 市民税の減額理由は。

答 コロナ禍による景気低迷が影響している。個人市民税の状況として、令和2年中の失業率は前年と比べ0.4ポイント増、給与収入は1.2%減、平均就業者数は48万人減となっているほか、GDPの1月からの三四半期の平均がリーマンショック時と同率の落ち込みであることから、同程度の落ち込み率であるマイナス8.53%を考慮した。また、税制改正の影響等も加味し、現年分として対前年比13億6300万円の減とした。法人市民税は、税制改正に伴う影響に加え、リーマンショック時の落ち込み率であるマイナス20.69%を考慮し、対前年比6億3500万円の減とした。

問 一般財源の確保に対する考え方は。また、市債発行の上限を取り払う考えは。

答 市税は、引き続き適正な課税と収納確保に努める。また、地方交付税の適正な積算に努めるほか、特定財源である国県支出金等を活用していく。歳出は事業の見直し等を行っていく。また、第5次総合振興計画前期基本計画で、通常債の新規借入れ上限額を50億円以下とする目標を掲げているが、新本庁舎建設では一時的に市債発行の上限を取り払った。今後も大規模事業で市債を活用できるものは、一時的に上限を取り払う必要があると考えているが、数年にわたり50億円を超える借り入れをすることは避けたいと考えている。

問 南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業の委託料の内容は。また、今後の市民参加の機会についての考え方は。

答 コミュニティプラザ施設維持管理等業務委託料の内訳は、施設の管理および修繕のほか店舗の維持管理などである。人員配置や業務の見直しを行ったこと、修繕費が減となったことなどから、委託料は減となった。越谷サンシティ整備事業アドバイザー業務委託料について、令和3年度はPFI法に準じ、実施方針および要求水準書の案の策定を進める。高い専門性や知識、経験を必要とするため、全般的な支援を委託する。具体的には、事業手法などの検討、マーケットサウンディング、財務シミュレーションに関する支援などである。また、市民参加は、民意を捉えるために必要であり、市民、事業者、行政にとって最も高い効果が得られるよう、検討していきたい。



問 新型コロナウイルスワクチン接種事業の会場やクーポン券配布の考え方は。

答 集団接種として、常設会場のコミュニティセンターのほか、老人福祉センターや大型館の地区センターなど2か月ごとに会場を変えての実施を予定している。また、個別接種について、医師会と調整を行っており、おおむね70を超える医療機関での実施を予定している。交通手段の確保が難しい方は、自宅近くの集団接種会場や個別接種を行う医療機関の利用を想定している。また、クーポン券の発送は、ワクチン接種の優先順位と併せて考えていく必要がある。ワクチンの供給量によっては65歳以上の方でも優先順位を細分化する必要があると考えており、供給量に応

予算特別委員会の活動

3月定例会では、予算特別委員会を設置し、令和3年度（2021年度）の当初予算議案について審査しました。※質疑のあった議案については主な質疑項目を掲載しています。また、賛否が分かれた議案については、質疑項目と答弁要旨を掲載しています。

予算特別委員会委員（◎委員長、○副委員長）

◎守屋 亨 ○服部 正一 清水 泉 浅古 高志 小林 成好
野口 和幸 山田 大助 久保田 茂 後藤 孝江 野口 佳司

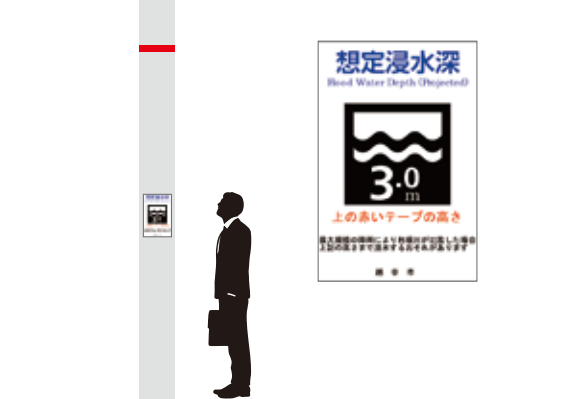
じ検討を進めたい。

問 ビジネスパワーアップ補助金の対象および増額理由は。

答 令和2年度当初予算では300万円を計上していたが、コロナ禍に対する支援策として、5000万円の補正を行ったほか、事業者のIT化やリモートワークなどの新しい働き方の推進に対する取り組みを補助対象に追加した。コロナ禍に対応する経営基盤強化のためには、新たな事業に取り組むことが必要であると考えていること、また、事業継続支援金のアンケートを踏まえ、令和3年度も例年の補助対象に加えて、販売活動のIT化やリモートワークなどへの取り組みを対象とし、令和2年度当初予算よりも増額して進めていきたいと考えている。

問 まるごとまちごとハザードマップの設置および周知の考え方は。

答 まるごとまちごとハザードマップは、まずは、生活徒歩圏の半径700mを基準として、想定浸水深の標識を設置していく。また、避難所の誘導標識は、1施設あたり2か所の設置を予定している。併せて水害に対する周知啓発も行っていきたいと考えており、地域によって水害の影響は異なるが、利根川の洪水を想定した場合は、市内全域が対象となるため、どこでも水害は起こりうることを知っていただきたい。その際、水害の影響が多い地域には説明等の工夫をしていく。



まるごとまちごとハザードマップのイメージ

問 校内系ネットワークにおける無線LANの整備状況と今後の課題は。

答 今年度は各教室に無線LAN設備を設置した。現在小学校で80台、中学校では40台のタブレット端末を活用しているが、令和3年度は2万6000台に増えることから、ネットワーク接続へのさらなる負荷が予想される。また、学校と市役所のネットワークは共有しており、庁内ネットワークを圧迫する可能性があるため、令和3年度はネットワークの分離を行う予定である。また、ネットワークの高速化のため、文部科学省が令和4年度に整備を目指している、学術情報ネットワーク「SINET」への接続に向けて準備をしていく。

▶討論 反対討論、賛成討論がそれぞれ1件ありました。

国民健康保険特別会計

マイナンバーカードと健康保険証の一体化

の取り組みなどについて質疑がありました。



予算特別委員会審査の様子

介護保険特別会計

問 介護保険料の考え方は。また、国への要望は。

答 介護保険事業計画の策定ごとに介護保険料を見直すことになっており、3年間の保険給付費を推計して設定している。今回、第8期計画の開始に併せて法定の保険料負担の割合から設定した結果、保険料を上げる判断となった。また、高齢化の状況にあって、低額な保険料および費用で、必要とされる専門的なサービスが給付の枠組みの中で継続的かつ安定的に提供されるためには、国費の一層の投入が不可欠であると考えており、これまでも中核市市長会等を通じて、地方が一丸となって国に要望してきた。今後も要望を続けていきたい。

▶討論 反対討論が1件ありました。

西大袋土地区画整理事業費特別会計

販売促進支援業務委託料や事業の進捗状況などについて質疑がありました。

病院事業会計

市立病院の今後のあり方や看護師の処遇などについて質疑がありました。

公共下水道事業会計

問 下水道使用料の負担のあり方とコロナ禍を踏まえ料金改定を延期する考えは。

答 下水道事業は、地方財政法上の公営企業とされ、営業で得た収益により事業を行うこととされている。使用者や水量を把握できることや市内全ての方が使用できる施設ではないことから、費用を公費で賄うことは公平性の観点から課題があり、使用水量に応じた適正な負担が必要である。また、下水道使用料における適正な負担区分は、速やかに整えていく必要があると考えており、公益社団法人日本下水道協会ではおおむね3年から5年ごとの見直しを行うべきとされていることから、5年ごとに料金体系を整えている。なお、コロナ禍による市民生活の影響を考慮し、新料金の適用時期を令和3年9月1日としているが、実際には11月の検針分からの適用となる。

▶討論 反対討論が1件ありました。

市政に対する 代表質問

※各会派の所属人数に応じた掲載枠となっています。

3月定例会では各会派から1人が代表して質問を行いました。また、コロナ禍の状況や一般質問の発言時間等を考慮し、本定例会においては代表質問の発言時間を一般質問と同様に、質疑と答弁を含めて、これまでの2時間から1時間に変更して実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策のため出席者を必要最小限にして実施しました。

自由民主党 越谷市議団

野口 佳司 議員



新規職員採用試験の現状と 今後のあり方について

問 行政課題は時々刻々と変化しており、その都度柔軟な対応が求められる。市民ニーズに即した行政運営には、それを担う組織、さらに人材が必要であると考え。越谷市という行政を担う人材として、スピーディーかつ正確な対応以上に、新たな市民サービスを提供すべく、自ら考え、想像力を持ち、そして行動力のある人材をしっかりと確保することが急務であると考え、新規採用試験の現状と今後の考えは。

市長 少子化による学生数の減少や民間企業の採用活動の影響などにより、本市の職員採用試験の受験者数は年々減少傾向にあり、今後も若年人口の減少が見込まれる状況において、人材確保はますます困難になるものと認識している。本市では、これまで受験可能年齢の引き上げや面接試験の回数を増やすなどの採用試験の見直しを適宜行うとともに、採用説明会や広報PR活動などを通じて、本市が求める職員像や本市で働くことの魅力を発信することにより、優秀な人材の確保に努めている。今年度は、採用困難職種である技師について、例年実

施している他の多くの市町村の試験日程と競合する9月の試験に加え、先立って6月に試験を実施した。これにより、一定の採用内定者を確保できたため、有効な取り組みであったと認識している。今後もこれまでの取り組みを継続し、他の職種における試験日程の前倒しによる実施など、採用試験のあり方についてさらに検討を進め、優秀な人材の確保に努めていきたい。

市民体育祭の現状と 今後のあり方について

問 毎年秋に開催してきた市民体育祭中央大会が昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、残念ながら中止となった。本来、市民体育祭の開催については、実行委員会規約にのっとり行われていることは承知しているが、コロナ禍で事業実施が難しい今だからこそ、各地区の実情を鑑み、実施方法も含めて市民体育祭のあり方を検討する考えは。

教育長 令和2年度は、3密対策や競技団体から出されているガイドラインの内容に沿った運営が難しいことから、残念ながら市民体育祭の各種目別大会と中央大会が中止となった。市民体育祭実行委員会を構成する関係団体からは、ウィズコロナを見据えた市民体育祭の新たな取り組みの検討が必要ではないかとの意見があったことから、令和3年度の実施に向けた準備をしている。具体的には、現在6月開催予定のソフトボール大会、卓球、ビーチボール大会につい

ては、各地区に開催可否のアンケート調査を行い、参加人数や試合方法の見直し、大声での会話や応援の制限、用具の消毒や会場の換気など、コロナ禍においても開催可能な大会実施に向けて検討を進めている。また、秋以降に予定しているグラウンド・ゴルフ大会、中央大会、駅伝競走大会についても同様に検討していく。

市民体育祭は、昭和31年10月に第1回町民体育祭を開催し、スポーツ・レクリエーション宣言都市として、健康で明るく豊かな市民生活の形成と市民文化の発展に寄与してきた長い歴史を持つスポーツイベントである。今後、各地区の実情等も考慮し、実施方法や市民体育祭のあり方などについて、市民体育祭実行委員会の構成団体である体育協会やレクリエーション協会、自治会連合会、スポーツ・レクリエーション推進協議会の方々と協議を進め、市民の方々がスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよりよい事業となるよう取り組んでいきたい。



市民体育祭中央大会開会式の様子

公明党 越谷市議団

守屋 亨 議員



「ゼロカーボンシティ宣言」を することについて

問 近年、国内外で異常気象が激甚化しており、大きな要因とされるのが温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化である。世界でも脱炭素社会実現に向けた取り組みが加速し、2050年カーボンニュートラルを目指す国、地域は120を超え、国内でもゼロカーボンシティ宣言をしている自治体は、2月17日現在で265自治体となり、最近では山梨県と県内の全27市町村が2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティを共同で目指すことを宣言した。昨年の9月定例会において、議員から本市もゼロカーボンシティ宣言をするべきだという提言があった中で、脱炭素社会の構築に向けた考えは。

市長 本市では令和3年度から新たな地球温暖化対策実行計画を進めていく中で、



2030年度までに温室効果ガスの排出量を国や県に合わせて2013年度比26%の削減を目標として掲げている。目標達成のためには、これまでの取り組みの継続、拡充のほか、新技術の開発や社会システムの大幅な転換、関係者の意識の変革なども求められている。現時点では、本市において2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとすることは困難な状況であるが、地球温暖化から将来世代を守るためには、全ての関係者ができる限り二酸化炭素の排出をゼロに近づけるため、努力していく意識を共有することが重要であると認識している。市民や事業者と一体となって脱炭素社会の構築に向けた取り組みを推進していくため、令和3年度早期にゼロカーボンシティ宣言に向け、具体的な検討を進めたい。

児童生徒が現代社会の課題を自分ごととして捉え、 課題解決のために「考え」「行動する」ことについて

問 子どもたちが生涯に渡り学んだ成果を

地域社会や世界に還元できる人生を歩んでほしいと考えるが、SDGsに関する取り組みは。

教育長 令和2年4月の校長研究協議会で、今後の教育課題として取り組んでいくSDGsの重要性について説明した。説明後、ESDやSDGsの視点を加えた総合的な学習の時間の年間指導計画を独自に作成した学校がある。昨年度からSDGsに取り組んでいる市内小学校では、学習内容がSDGsのどのゴールに結びつくのかを子どもたちに意識させるため、学習資料に17のゴールのアイコンを示す取り組みを始めた。令和3年度からは、市内の全小中学校から代表者を集め、総合的な学習の時間のカリキュラムを検討し、実践を図る研究組織を立ち上げていく。今後も第2期小中一貫教育を推進する中で、現代社会の課題を自分ごととして捉え、他者と協働し、持続可能な社会につながる新たな価値や行動を生み出す子どもの育成を目指していく。



立 憲

市民ネット

細川 威 議員



小中学校における新型コロナウイルス感染拡大防止策と教職員・児童生徒間の交流について

問 昨年3月、政府の要請によって行われた一斉臨時休校や、現在でも続いているさまざまな行事の中止や縮小など、小中学生にとっては大変つらい日々が続いている。教育を受ける権利を保障しながら取り組んでいる感染拡大防止策の内容および教職員や児童生徒間の交流は。

教育長 具体的な感染予防対策は、毎朝家庭での健康観察や登校時の教職員による児童生徒の検温結果の確認、体調観察を行っている。また、マスク着用・換気・手洗い・うがい等の基本的な感染防止策を徹底し、さらに給食中は前を向き会話を控える等の対策を行い、学校生活の中で「感染しない」「感染させない」よう指導している。教職員や児童生徒間の交流については、各

学校で協働的な学びが制限される中さまざまな取り組みを行っている。タブレット内の授業支援ソフトを使い資料を仲間と共有する学習や、アクリル板等を設置し感染防止策を講じて話し合い活動を実施した学校、さらに修学旅行の代わりに動物園での班別行動を実施した学校もある。加えて、生徒会連合会によるオンライン会議を開催するなど、各学校で行事の工夫や改善を行っている。また、児童生徒の居場所づくりとして、休み時間に校庭で鬼ごっこを取り入れ、教師を含めた児童生徒同士での関わりを増やす取り組みを行った学校もある。コロナ禍で不安やストレスを抱える児童生徒がいることを想定し、定期的に心のアンケート



感染症対策をしながら給食を食べる子ども達

を実施し担任との二者面談を設けている。教育委員会は今後も人と人との心のつながりを感じ取ることができる教育活動を推進し、各学校に応じた支援を行っていく。

IT・IoT社会におけるデジタルデバイド（情報格差）の解消について

問 デジタル化の動きが加速度的に進む中、情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差がここ近年問題となっているが、この情報格差を解消する取り組みは。

市長 インターネットを利用できるキオスク端末やマイナポータル端末を市役所や出先機関に設置し、パソコンやスマートフォン等を持っていない方に対して、インターネットを利用する機会の確保に努めてきた。第5次越谷市総合振興計画前期基本計画の推進ビジョンでは、行政手続きのオンライン化推進にあたり、デジタルデバイドが生じないように留意することを明記している。今後も行政のデジタル化の推進と、デジタルデバイドの解消に向けた取り組みを積極的に進め、市民サービスのさらなる向上に努めていきたい。

日本共産党

越谷市議団

宮川 雅之 議員



予算編成の考え方について

問 介護保険料や下水道料金の値上げなど、市民への負担増は今行うべきではないと考えるが、市民生活や市内事業者への配慮について、令和3年度予算への反映状況は。

市長 予算は例年以上に厳しいが、市民

サービスの質を保持すべく、財源確保に努めた。感染症対応で不測の支出が生じるが、困窮世帯等の子どもに対する学習支援、市内中小事業者への住宅・店舗改修の支援など、市民生活や地域経済に配慮した予算とした。

小中一貫校計画・3学園構想について

問 学習環境を悪化させる過大規模校につながる小中一貫校、3学園構想についての考え方は。また、レイクタウン地域に学校を新設する考えは。

教育長 小中一貫校の強みを生かした教育内容と指導体制を確立し、特色ある教育を

円滑に展開できるよう3学園構想を進める。学校建設の敷地をレイクタウン地区内、周辺地域などで検討したが、買収には相当の年月を要するため、小中一貫校の設立に取り組んでいく。

保育所の統廃合の考え方と
（仮称）緑の森公園保育所整備について

問 大沢第一、中央保育所をそれぞれ建て替え、（仮称）緑の森公園保育所を市内19番目の保育所にする考えは。

市長 2つの保育所を現在地で建て替えるよりも、スピード感をもって対応できること、総事業費を抑制できること等から、一体化した新しい保育所に建て替える。

越谷刷新

クラブ

松島 孝夫 議員



新型コロナウイルスの
ワクチン接種について

問 新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備状況および接種率向上に向けた取り組みは。

市長 コミュニティセンターや老人福祉センター等の公共施設を会場として実施する集団接種と、市内実施医療機関による個別



ワクチンの集団接種シミュレーションの様子

接種の併用により、より多くの方に接種していただけるよう準備を進めている。3月下旬にはクーポン券の発送を予定しており、発送と併せてコールセンターを開設し、市民からの問い合わせに広く対応でき

るよう相談体制を整えていく。接種率向上に向けて、集団接種の実施日の調整や予約方法の利便性向上を図っていく。また、先行接種後の状況について情報提供を行うなど、多くの方が安心してワクチンを接種できるよう積極的な周知に努める。

業務効率化のためAI・RPAの
利用を促進することについて

問 AIやRPAを導入する考えは。

市長 導入に向け整理している。今後も国や県の動向や他市の事例等を踏まえ、実証実験等の実施によって本市における効果をしっかりと見定めた上で導入を検討していきたい。

日本維新の会

小林 成好 議員



人事評価の給与への反映について

問 能力、実績に基づく人事管理を徹底し、より高い能力を持った人材の育成と組織全体の士気高揚や公務能率の向上を図り、住民サービス向上の土台をつくるものとして人事評価制度が導入されたが、本市では人事評価は昇給や勤勉手当に反映されていない。多くの自治体で人事評価は給与へ反映されているが、本市の現状と今後は。

市長 人事評価は職員の発揮した能力や挙

げた業績を適正に評価し、その結果を給与に反映させることにより、職員の人材育成やモチベーションを高める効果があり、組織全体の公務能率の向上につながると認識している。一方で公正な評価の確保や評価のばらつきなど課題もある。引き続き人事評価結果の分析、検証をし、改善を図りながら公平感や納得感を感じられる評価制度の構築に向け、努めていきたい。

こしがや市議会からの

お

知

ら

せ

議会人事

令和3年3月定例会において、任期満了に伴い、社会福祉審議会委員に次の方を選出しました。

社会福祉審議会委員

大野 保司

4月臨時会について

令和3年4月臨時会が4月23日に開かれ、5件の市長提出議案を原案のとおり可決しました。

〈可決した議案〉

- ・専決処分事項の承認を求めることについて（越谷市税条例の一部を改正する条例）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて（令和3年度越谷市一般会計補正予算（第1号））
- ・越谷市税条例の一部を改正する条例制定について
- ・越谷市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和3年度越谷市一般会計補正予算（第2号）について

6月定例会開催予定

令和3年6月定例会は、6月1日（火）から18日（金）までの18日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。（☎963-9261）

表紙写真の募集

こしがや市議会だよりの表紙写真を随時募集しています。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

市議会だよりに
すてきな名前を
付けてください

こしがや市議会だよりの 愛称を募集！

こしがや市議会だよりの愛称を募集します。明るく、親しみやすく、読みやすい愛称をご応募ください！（文字数は問いません。）採用作品応募者に越谷市議会議長から感謝状と記念品を贈呈します。

応募方法

越谷市内に在住、在勤、在学している方（未成年者は、親権者の同意を得て応募してください）で、はがきまたは封書により、市議会だよりの愛称、愛称への想い、住所、氏名、年齢、電話番号、市内在勤の方は勤務先、市内在学の方は学校名と学年を記入し、議会事務局へ送付してください。（メール、FAX可。様式は問いません）
※一人につき何点でも応募可。ただし、一点につき応募は一枚とします。個人情報ば愛称募集の目的以外に使用しません。

応募期限

令和3年（2021年）5月31日（月）
※消印有効

送付先

〒343-8501
越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
越谷市議会事務局「市議会だより愛称募集担当」
e-mail：giji@city.koshigaya.lg.jp
FAX：048-966-6006

審査・発表

議会報専門協議会で審査し、決定します。採用者へ通知し、越谷市議会だより、越谷市議会ホームページへ掲載します。
※採用された愛称は、後日デザインを施し、市議会だよりで使用します。また、採用された愛称は越谷市議会に帰属します。

応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。（ただし、景観に変化がなければ制限はありません）

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方
※詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。なお、次号の令和3年8月1日号の写真募集はありません。新しくなった議場の紹介をする予定です。

傍聴して一言

本定例会では、50人の傍聴者がいました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

■初めて市議会を傍聴した。施政方針にさまざまな方針があり、私たちの生活に身近に関係しているのだと感じた。

■議会質問が短縮されたため、再質問から納得いくまで回答を引き出すことができず非常に残念だった。

《市議会のICT化に向けた取り組み（パソコン等の利用を試行していること）について》

■傍聴者にも貸してもらえるといいと思う。

議会中継 リニューアルのお知らせ



令和3年5月1日から、議会中継をリニューアルしました。それに伴い、議会中継ページのURLが変更となっています。ブラウザのお気に入りやブックマークにご登録いただいている方は、お手数ですが、変更をお願いします。新しいURLは以下のとおりです。

<http://koshigaya.gijiroku.com>

また、今年度から、常任委員会および特別委員会のライブ中継が始まります。ぜひ一度、ご視聴ください！



編集後記

初夏の気配が漂う季節、いかがお過ごしでしょうか。市議会だよりも広報こしがやに併せて、縦書きから横書きへ、右とじから左とじへと変更となりました。市議会だよりが市民の方にとってより親しみやすく、より興味を持ていただける紙面となりますよう、議会報専門協議会にて協議を続けて参りますので何卒ご理解賜ります。

議会報専門協議会委員

野口 高明